

公表:令和 4 年 2 月 14 日

事業所名:児童デイサービス・アニマート江戸屋

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			休校日は屋外での活動も行ってあります。	室内の不用品など整理整頓し活動スペースを少しでも広げるように検討します。
	2	職員の配置数は適切である	5			緊急時に備え予備の人員も雇用しております。	更に人員を増やすため、ハローワークへ求人を出しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			駐車場から玄関、室内まで段差の無い建築となっています。	現在、手すりの必要性が無い為、必要であれば設置を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			全職員が集まり、定期的に振り返り、目標、評価を継続して参ります。	今後も継続して参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			サービス提供範囲外のご指摘については、わかりやすく、ご説明を致します。	「どちらともいえない」のついた項目は原因を振り返り、改善に繋げます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページで公開しております。	今後も継続して参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			アニマートグループ本部へ報告、助言を頂いております。	今後も継続して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			積極的に研修や講習に参加している。	会社が研修費の負担などとして、職員の資質向上をバックアップしております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			利用者の日々の様子を見逃さない様、毎日、報告会を行っています。	今後も継続して参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			アセスメントシートを利用しております。	利用者の状況をスタッフ間で共有して、報告の漏れが無いよう努めて参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			プログラム作りの為、様々な講習を受講、修了しております。	誰でもが行える様、カリキュラムを作成して参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			常に新しい情報を取り入れ、楽しく参加できる療育プログラムを考えております。	自ら積極的に取り組める様、検討して参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			休日は屋外での活動を入れ、目標を設定している。	今後も継続して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			集団活動に参加しなくなる様、工夫しております。	今後も継続して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			グループLINEで情報を共有し迅速な対応をしております。	当日の予定の確認、前日の振り返り、気づきなど報告し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			子供との何気ない会話でも報告を上げる様にしてスタッフ間で共有している。グループLINEも使用。	今後も継続して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			記録の取り方は一定の方法を決め、漏れがないように徹底している。	ガイドラインに沿った支援となっているか、定期的に確認を行って参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			モニタリングで新たな情報を得る事もあり、参考にする事もある。	個別支援計画作成の際、小まめな計画の見直しを行っており、モニタリングの際、相談員と共有を継続して参ります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			様々な療育を組み合わせ合わせたプログラムで支援をしている。	ガイドラインに沿った支援となっているか、定期的に確認を行いながら支援を行って参ります。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			利用者について、詳しい者が参加し、会議を有効な情報交換の場とする様、心がけている。	今後も継続して参ります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			学校によって教えてくれる学校とそうでない学校があるため、積極的に確認を取っている。	学校から情報共有して頂ける様、積極的に会議などを行って参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5				現在、医療的ケアが必要な利用者はおりませんが、受け入れる場合は、連絡方法などフローチャートを作成する事になっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5		直接、施設にお聞きすることはありませんが、相談員より情報提供を頂いております。	必要とあらば、情報共有をお願い致します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4			担当の相談員が継続して担当していれば、情報共有は可能ですが、それ以外では、難しい問題です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		専門家の講習など積極的に参加する様にしている。	ケースにより、どの専門機関と関わるか、認識する様検討致します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1			外部の子供との接触を好まない利用者もいる為、地域交流は今後も課題です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5				南城市役所からお声をかけて頂き、療育部会に参加していますが、事業所の希望で参加できるものではないと説明を受けています。児発管更新研修でも自立支援協議会への参加については「参加の仕方がわからない」という意見が多数出ていました。昨年、初めて療育部会が行われました。業務改善に向けて意見を上げて行きたいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			主に連絡帳でのやりとりとなりますが、個別に電話やLINE、メールなどで対応する事もあります。	保護者が感じる課題と支援者の感じる課題にズレが生じる事があり、共通理解に向けて、ご説明を行いたいと思っております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5			ペアレントトレーニングは数日間を要し、相談があった場合は個別でトレーニングの一部をアドバイスさせて頂いております。	事業所でペアレントトレーニングを行う事ができる様、独自のプログラム作成を検討して参ります。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時にご説明しております。支援の内容については、日々、グループLINE、ブログ等で活動の様子をアップしております。	今後も継続して参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			連絡帳に書かれた相談などは返信コメントを入れさせて頂き、面談の希望を伺うアンケートを取る事もあります。	相談に対応できる様、日々、勉強して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			毎年、保護者会を行って参りましたが、コロナ感染症の為、事業所内の入室は制限しております。広い会場を借りて感染対策を行いながら、保護者会、療育体験など検討したいと思います。	感染症がある中でも、保護者会を開催できる様、検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			支援や療育についての苦情には、事業所の課題とし、有難く受け止めております。全スタッフが同じ様に対応できる様に努めて参ります。	昨年、匿名で県庁へ苦情が上がりましたが、県庁からは「よくやっています」と評価を頂きました。よくやっています、保護者の理解を得る為の方法など、ご教授頂きましたので、参考にさせて頂きました。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			保護者グループLINEで日々の様子をアップしております。療育の説明やイベントのお知らせも併せて行っております。	今後とも継続して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	5			徹底して管理しております。掲示物など社内ルールが決まっております。	今後とも継続して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			メール、LINE、電話などを利用しております。	今後とも継続して参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	1		コロナ禍で外部との接触は避けている為、これからの検討課題です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			特にコロナ感染症対策については日々、情報が変わる為、早急に対応してマニュアルを作成、修正した物を保護者へ配布しています。緊急時、防犯対策についてもマニュアルを用意しております。	もしもの事を考えたマニュアル作成を心がけて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			半年に一度、必ず行っております。その様子はホームページやブログ、保護者グループLINEにも情報アップしております。	今後とも継続して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			毎年、虐待防止研修を行っております。	今後とも継続して参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			身体拘束、行動制限については、市に相談の上、検討会議。保護者への説明。同意、定期的な見直しなど、マニュアルが御座います。	今後とも継続して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		医師の指示があるほどの利用者はおりませんが、アレルギー疑いの利用者の情報は確認して対応を行っております。	今後とも継続して参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			事故に限らず、業務中の失敗など報告書を上げ、原因と対策をしっかりと立てる様にミーティングで共有しております。	ヒヤリハットな状況を繰り返さない様、必ず対策を継続して行っております。